

1_第四次中期経営改善計画（経営強化プラン）で設定した指標の達成状況

(1) 地域から信頼される医療の推進に関する設定値

No.	指標名称	単位	令和6年度			前年度
			設定値	実績	達成状況	実績
1	悪性腫瘍の手術件数	件	660	473	×	489
2	放射線治療件数	件	260	237	×	233
3	がん化学療法レジメン適用件数	件	3,000	3,849	○	3,373
4	手術件数(悪性腫瘍の手術も含む)	件	3,800	3,826	○	3,770
5	手術件数(うち全身麻酔)	件	1,720	1,807	○	1,789
6	手術件数(うちその他)	件	2,080	2,019	×	1,981
7	救急患者数	人	9,100	8,902	×	8,539
8	救急車応需率	%	84.5	89.1	○	88.0
9	専門外来の充実	—	術前・退院支援	実施なし	×	緩和ケア看護外来設置
10	訪問看護件数	件	1,600	1,725	○	1,385
11	リハビリテーション件数	件	66,300	68,399	○	64,534
12	分娩件数	件	550	482	×	547
13	健康・医療相談件数	件	2,050	2,789	○	2,664
					達成件数	7

(2) 医療の質の向上に関する設定値

No.	項目	単位	令和6年度			前年度
			設定値	実績	達成状況	実績
14	医師数(※4/1時点)	人	111	110	×	109
15	うち、初期臨床研修医数	人	12	12	○	13
16	医師数(初期研修医を除く)	人	99	98	×	96
17	看護師数(※4/1時点)	人	492	496	○	490
18	看護師離職率	%	6.9	7.3	×	6.3
19	うち、普通退職離職率	%	6.0	5.5	○	5.5
20	認定看護師教育課程への受験者数	人	2	2	○	1
21	特定行為習得看護師数	人	3	2	×	5
22	患者さんアンケート地域貢献度	%	85.0	81.9	×	81.4
23	患者さんアンケート当院推薦度	%	92.0	89.0	×	90.8
24	投書件数に占めるお礼件数の割合	%	72.0	66.3	×	70.1
25	クリニカルパス適用割合	%	61.0	59.0	×	60.2
26	臨床研修医受入数	人	12	12	○	13
27	在宅復帰率	%	91.5	91.3	×	91.0
					達成件数	5

(3) 地域医療連携の推進に関する設定値

No.	項目	単位	令和6年度			前年度
			設定値	実績	達成状況	実績
28	紹介率	%	73.0	79.7	○	77.0
29	逆紹介率	%	74.0	75.9	○	79.3
30	高度医療機器利用件数	件	1,800	1,573	×	1,590
31	地域医療機関訪問件数	件	50	54	○	44
32	医師派遣施設数	施設	11	13	○	6
					達成件数	4

(4) 経営基盤の強化に関する設定値

No.	項目	単位	令和6年度			前年度
			設定値	実績	達成状況	実績
33	経常収支比率	%	97.3	95.2	×	99.9
34	医業収支比率	%	96.1	94.0	×	94.5
35	修正医業収支比率	%	91.6	89.7	×	89.9
36	資金不足比率	%	0.0	0.0	○	0.0
37	累積欠損金比率	%	0.0	0.0	○	0.0
38	純資産の額(資産-負債)	百万円	9,218	8,843	×	9,505
39	現金・預金保有残高	百万円	5,408	4,375	×	5,402
40	企業債残高	百万円	3,246	3,956	×	1,836
41	入院期間率期間Ⅱ以内退院率	%	62.0	61.9	×	61.6
42	病床利用率	%	79.8	70.7	×	72.3
43	平均在院日数	日	11.9	10.7	○	11.7
44	新規入院患者数(=退院患者数)	人	11,700	11,498	×	10,825
45	1日平均入院患者数	人	415.0	367.4	×	376
46	1日平均外来患者数	人	910.0	885.4	×	874
47	1日当たり入院診療単価	円	66,000	72,572	○	68,415
48	1日当たり外来診療単価	円	17,200	19,678	○	18,812
49	医師一人当たり診療収入	千円	125,462	126,973	○	123,059
50	看護師一人当たり診療収入	千円	28,050	28,159	○	27,374
51	診療収入未収金現年度分収入率	%	100.0	99.0	×	98.9
52	診療収入未収金滞納繰越分収入率	%	81.0	77.1	×	80.1
53	DPC機能評価係数	—	0.5217	0.5078	×	0.5555
54	給与費対修正医業収支比率	%	60.1	60.5	×	62.1
55	薬品費対修正医業収支比率	%	15.3	18.5	×	16.4
56	診療材料費対修正医業収支比率	%	11.8	11.2	○	12.1
57	委託費対修正医業収支比率	%	9.5	9.5	○	9.5
58	減価償却費対修正医業収支比率	%	4.0	3.6	○	3.5
59	100床当たり医師数	人	21.2	21.1	×	21.0
60	100床当たり看護師数	人	94.6	95.4	○	94.2
61	100床当たり医療技術員数	人	23.7	24.6	○	23.5
62	100床当たり事務員数	人	8.8	10.2	○	8.8
63	診療材料費の共同購入による削減額	千円	37,000	57,632	○	55,102
64	後発医薬品の使用割合	%	90.0以上	94.0	○	93.3
達成件数					15	

令和6年度達成状況【再掲】

(単位：件、%)

	基本指針名	項目数	達成件数	達成割合	備考
1	地域から信頼される医療の推進	13	7	53.8	
2	医療の質の向上	14	5	35.7	
3	地域医療連携の推進	5	4	80.0	
4	経営基盤の強化	32	15	46.9	
合計		64	31	48.4	

2_総合的な評価

【5段階評価】 5 十分評価できる 4 やや評価できる 3 中程度 2 やや不十分 1 不十分

評価：4 やや評価できる

令和6年度の決算額は約8億600万円の純損失となり、前年度と比較し約7億9,700万円の大幅な減となった。この主な理由は、入院及び外来収益の合計で約5億5,000万円増加したものの、新型コロナウイルス感染症に係る県補助金の皆減（約5億8,000万円の減）や、給与費、材料費、雑損失等がそれぞれ大幅に増加したことなどによるものであるが、人件費の上昇や物価高騰の影響が診療報酬に反映されていないことなど、収益を上げることが難しい現在の医療制度の中、他の公立病院の決算状況から鑑みても十分評価できる決算額であると考える。

一方、延べ患者数では、前年度と比較し、入院で3,558人の減、外来で2,826人の増であるが、特に入院では、1日平均患者数が367.4人であり、経営強化プランで設定した415人には遠く及ばず、引き続き患者数の増に努めることが必要である。

経営強化プランに掲げた設定値については、64項目中、達成が31項目、未達成が33項目で、半分以上が未達成となっており、特に経営状況の悪化に伴い、経営基盤の強化に関する設定値において未達成の項目が顕著となっている。

また、「悪性腫瘍の手術件数」及び「放射線治療件数」が計画値を下回っており、地域がん診療連携病院としての役割を果たすためにも、がん患者の集患が求められている。

さらに、分娩件数が前年度から大幅に減少しており、出生率の低下によることのほか、他院へ流出していないかなどの要因分析も必要であると考ええる。

当院では現在、収益の向上を図るため、集患活動の強化や、D P C II期での退院の推奨、断らない救急に取り組んでおり、徐々に成果が表れていることから、今後は更なる患者数や手術件数の増加を図るため、麻酔科医等医師の確保や手術室に従事できる看護師の育成等必要な人材の確保に努め、公立病院経営強化プランと連動して経営改善が図られることを期待する。

3事業の評価

【5段階評価】 5 十分評価できる 4 やや評価できる 3 中程度 2 やや不十分 1 不十分

1 地域から信頼される医療の推進 評価：4 やや評価できる

救急体制について、救急専門医の確保により、スタッフの意識が高まり救急応需率が向上するなど、救急体制を強化したことは高く評価できる。

また、化学療法レジメン件数や手術件数を上回っていることは評価できる一方、全身麻酔による手術件数において、診療科によっては全身麻酔枠を長期間待たされる状況が生じていることから、他院への流出を防ぐとともに収益の増加につなげるためにも、麻酔科医の増員は必須である。

がん医療への取組では、5項目中4項目がA評価であり、地域がん診療連携拠点病院としての役割を果たしている。

2 医療の質の向上 評価：3 中程度

医療制度改革により、医療従事者を確保しながら医療の質を確保することが難しい状況の中、看護師確保事業において、高い目標を設定したにも関わらず、目標値に近い実績であったことは評価できる。

また、院内コンサートや院内ギャラリー、あいさつ運動など患者満足度向上のための取組は評価できる一方、待ち時間や患者さんアンケート結果が目標に達していなため、更なる努力が必要である。

全般的に他の項目と比較しC項目が多く、特に看護師に関連する項目の達成度が低いため、目標設定見直しの必要性が感じられた。

3 地域医療連携の推進 評価：4 やや評価できる

地域の基幹病院としてより良い医療連携の推進を図るため、担当診療科の医師を同行した地域医療等の訪問に力を入れ、顔の見える関係性を築くことで、紹介率・逆紹介率にも良い影響が出ていること、また、市内4病院との連携搬送協定を締結するなど積極的に地域連携に取り組んでいることなど高く評価できる。

一方、高度医療機器の利用については目標値を大幅に下回っていることから、地域連携の向上及び収益増加を図るため、医師会等に積極的にアピールをしていただきたい。

4 経営基盤の強化 評価：4 やや評価できる

収入の確保では、新規入院患者数が目標値に近い実績であったものの収支の改善に至っていないため、未収金対策の強化のほか、患者数の維持・向上が図られるよう、集患活動に努めるとともに、DPC II期を意識した退院を推進するなど、更なる経営改善に努めていただきたい。

また、支出の抑制では、診療材料費の削減額が目標値を大幅に上回ることが出来ている一方、決算において薬品費が前年度より大幅に増加していることから、価格交渉による適正価格での購入に努めていただくとともに、医療機器等の入札執行率向上に向けて、引き続き検討いただきたい。

4外部委員による評価

1 「地域から信頼される医療の推進」について

評価	十分 評価できる	やや 評価できる	中程度	やや 不十分	不十分
	3人	4人	0人	0人	0人

主な意見

- ・ がん患者の栄養指導の実施では、午前中からの指導希望を募ったことにより件数が倍増しており、患者の指導時間に関するニーズに即した取り組みであると考えます。
- ・ 手術室の効率的な運用では、全看護師を対象とした個別相談の実施や、負担軽減・働き方に関する聞き取りを行っており、一人ひとりの職員を大切に、働き続けられる職場づくりに向けた努力が伺えた。
- ・ 救急医師の確保ができたことは良かったと思うが、1名では負担も大きいので、せめて2名体制が望ましいのではないかと。
- ・ 救急医の確保と救急事応需率の上昇は評価したい。
- ・ 他の目標項目も無理な数値設定をせずに、患者さん第一に進んでほしい。

2 「医療の質の向上」について

評価	十分 評価できる	やや 評価できる	中程度	やや 不十分	不十分
	0人	4人	3人	0人	0人

主な意見

- ・ 院内ギャラリーの運営では、月替わりで作品展を開催しており、出展者および来院者双方の楽しみにつながる有意義な取り組みであると考えます。
- ・ 院内コンサートについても、入院患者の癒やしや療養環境の向上につながる取り組みとして評価できる。
- ・ 院内ギャラリーを通して、病院関係者の心理的好影響を与えている。
- ・ 市民公開講座は目標達成されなかったものの、病院関係者以外の参加者が伸びているため、今後を期待します。
- ・ あいさつ運動の実施はコストが掛からず、患者さんとの関係や職場の雰囲気づくりに良い取組である。

3 「地域医療の推進」について

評価	十分評価できる	やや評価できる	中程度	やや不十分	不十分
	1人	6人	0人	0人	0人

主な意見

- ・ 地域医療の推進のため、「顔の見える関係づくり」として、目標値50を上回る54の病院、診療所等を訪問したことは、今後の医療機関相互の信頼関係の構築や、円滑な患者紹介・逆紹介につながる取り組みとして評価できる。
- ・ 地域連携の強化として訪問することで顔の見える関係を作っている。
- ・ 高度医療機器については、情報発信を一層強化し、病院との連携が強化できると良いのではないか。

4 「経営基盤の強化」について

評価	十分評価できる	やや評価できる	中程度	やや不十分	不十分
	2人	4人	1人	0人	0人

主な意見

- ・ 未収金回収の比率が99%の目標に対して98.7%とあるのは未達成ではあるが、発生を抑制する努力が実ってきていると感じた。
- ・ 16件の新規施設基準の届出は経営に大きく貢献する取り組みであると考える。
- ・ 看護補助体制充実加算においては、プロジェクトチームを結成しながらも達成しなかったため、原因を明らかにし、次年度につなげてもらいたい。
- ・ 収入確保に向けた取組みはほとんどA判定であり、努力していることが伺えるが、人材費・材料費等の上昇により経常指標は悪化し、保有資金が減少した決算となっている。また、入札率の低下も気になる所である。

5 令和6年度事業計画全体について

評価	十分 評価できる	やや 評価できる	中程度	やや 不十分	不十分
	1人	6人	0人	0人	0人

主な意見

- ・ 基幹病院としての機能が発揮できれば、関連機関との連携、市民に対して信頼の厚い病院になると思う。
- ・ 地域の住民が安心して診てもらえる病院づくりに励んでもらいたい。
- ・ 厳しい環境の中、収支のバランスを維持・改善しようと努力されていることを感じた。
- ・ 働く皆さんが安心して働ける職場となるよう、今後に期待します。
- ・ 事業の評価においてC評価となった項目については、目標数値の見直しや、達成出来なかった理由の振り返りを実施すると良いのではないかと。

6 今後の改善提案等

- ・ 市民目線で言えば救急医療への対応を重点的にお願いしたいので、救急医の確保は引き続き取り組んでいただきたい。
- ・ 社会全体で人手不足の中、充分努力されていると思うが、退職者のその後のリサーチなどが行えると良い。
- ・ インシデントレポートの応用で、看護師等職員の離職防止につなげる活動が何かできないか検討してはいかかがか。
- ・ 令和6年度計画どおりに進まなかった看護補助体制充実加算についても、取得に向けた体制整備を進めることで、さらなる経営への貢献につながることを期待される。
- ・ 病院収支改善については、経営管理部門で病院全体の流れを把握して支出抑制・収入増加の方策を練り、各職員にそれを理解・実践してもらうことが必要。
- ・ 評価指標とそれに対する目標設定値が妥当であったかどうかの検証と見直しが必要。